

中災防技術発第 30 号
令和元年 6 月 19 日



都道府県労働基準（労務安全衛生）協会（連合会）
専務理事 殿



中央労働災害防止協会
技術支援部長

「リスクアセスメントキャンペーン」の実施について
(周知のご依頼)

時下益々ご清栄のことお慶び申し上げます。

日頃より、当協会にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 30 年の労働災害について、死亡災害は過去最少となりましたが、休業 4 日以上の死傷災害は増加しており、中でも、製造業の労働災害は、平成 30 年において死亡災害、休業 4 日以上の死傷災害とも増加しました。

このような中、平成 30 年に発行された ISO (JIS Q) 45001、JIS Q 45100 の本格的普及を念頭に置き、当協会では、労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) の中核をなすリスクアセスメントの適切な実施及びその結果に基づくリスク低減措置の確実な実施、製造業安全対策官民協議会で開発された「リスクアセスメントの共通化手法」の活用が重要であることから、令和元年 7 月 1 日から 10 月 31 日まで「リスクアセスメントキャンペーン」を展開することとしましたので、貴協会のご理解とご協力を賜れば幸いに存じます。

つきましては、別途送付いたしますパンフレットにより、事業者団体、会員事業場に対しまして、関係者が参集する機会、会報誌の送付等機会を捉え、周知について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

※キャンペーンのパンフレットを送付します。

連絡先：中央労働災害防止協会 技術支援部 技術指導課 (03-3452-6375)

見直してみませんか リスクアセスメント

こんな悩みはありませんか？

- ・ 重篤な災害を減らすにはどうすればいいの？
- ・ 効果的なリスクアセスメントってなに？
- ・ 危険源はどのようにして見つけるの？
- ・ ルール違反やヒューマンエラーがあるけど、
どうすればいいの？
- ・ どうしたら機械や設備は安全になるの？
- ・ SDS（安全データシート）はどう活用するの？



リスクアセスメントキャンペーン
実施期間：7月1日～10月31日

製造業の死亡災害や重篤な災害が増加しています。
労働安全衛生マネジメントシステムを効果的に進めるためにも、
適切なリスクアセスメントの実施が必須です。

中災防がリスクアセスメントの悩みをズバッと解決します！
出張研修（オリジナル研修）や技術支援も実施しています！
（中小規模事業場向けのお得な割引制度もございます）
リスクアセスメントに関する書籍の販売も行っています！

全ての働く人々に安全・健康を ~ Safe Work , Safe Life ~

JISHA 中災防



各研修のおすすめポイント

- ISO (JIS Q) 45001では安全衛生リスクの具体的な評価方法は組織で決定することが要求されています。
- JIS Q 45100では安全衛生リスクへの取組体制が要求されています。

ISO、JIS規格に合ったリスク対応が必要です！

作業(場)のリスクアセスメント研修

- **リスクレベル**に応じた具体的な対応が学べます。

機械のリスクアセスメント研修

- 新しく設備を導入する際に必須となる「**安全な機械を見極める能力**」が得られます。
- 既存の機械・設備の**リスク低減に有効な手法**（厚生労働省通達、国際規格など）が学べます。
- 製造業のみならず、機械を使用しているすべての企業が、知っておかなければならない内容です。
機械の安全化は、確実な効果が得られる投資です。

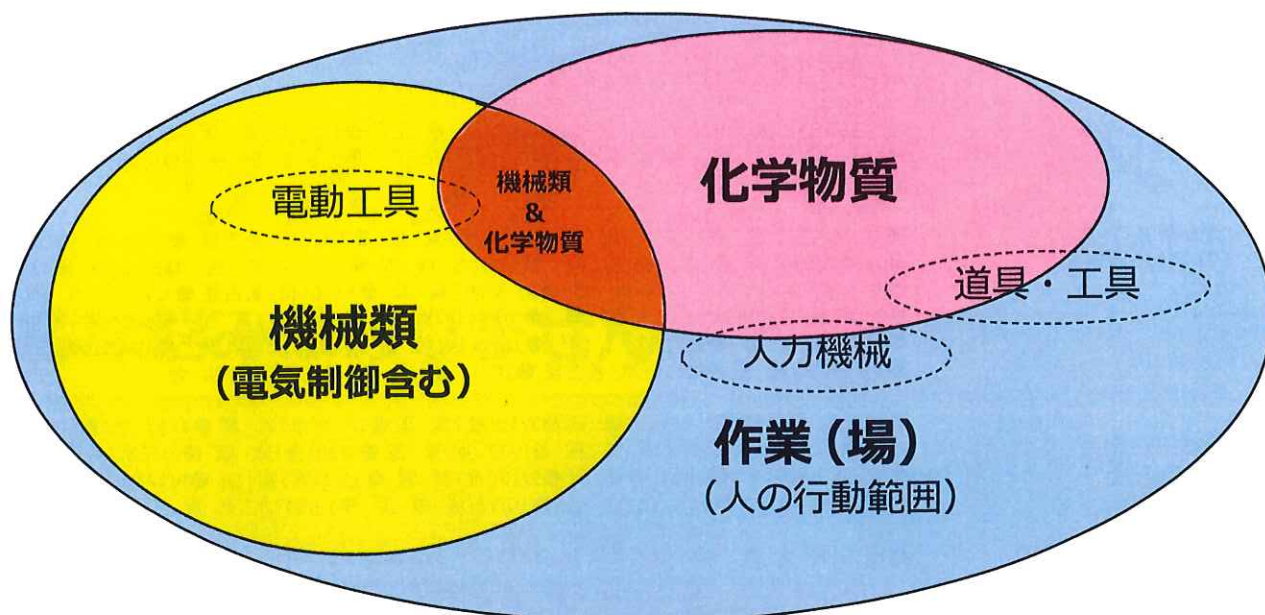
化学物質のリスクアセスメント研修

- 化学物質を取り扱っていれば、**事業場の規模や業種に関係なく、リスクアセスメントを行う必要があります。**
 - ラベル・SDS（安全データシート）の読み方や、最新の支援ツールを活用した簡易アセスメントを学ぶコースから、専門的なリスクアセスメントを学ぶコースまで、**様々なレベルの研修を行っています。**

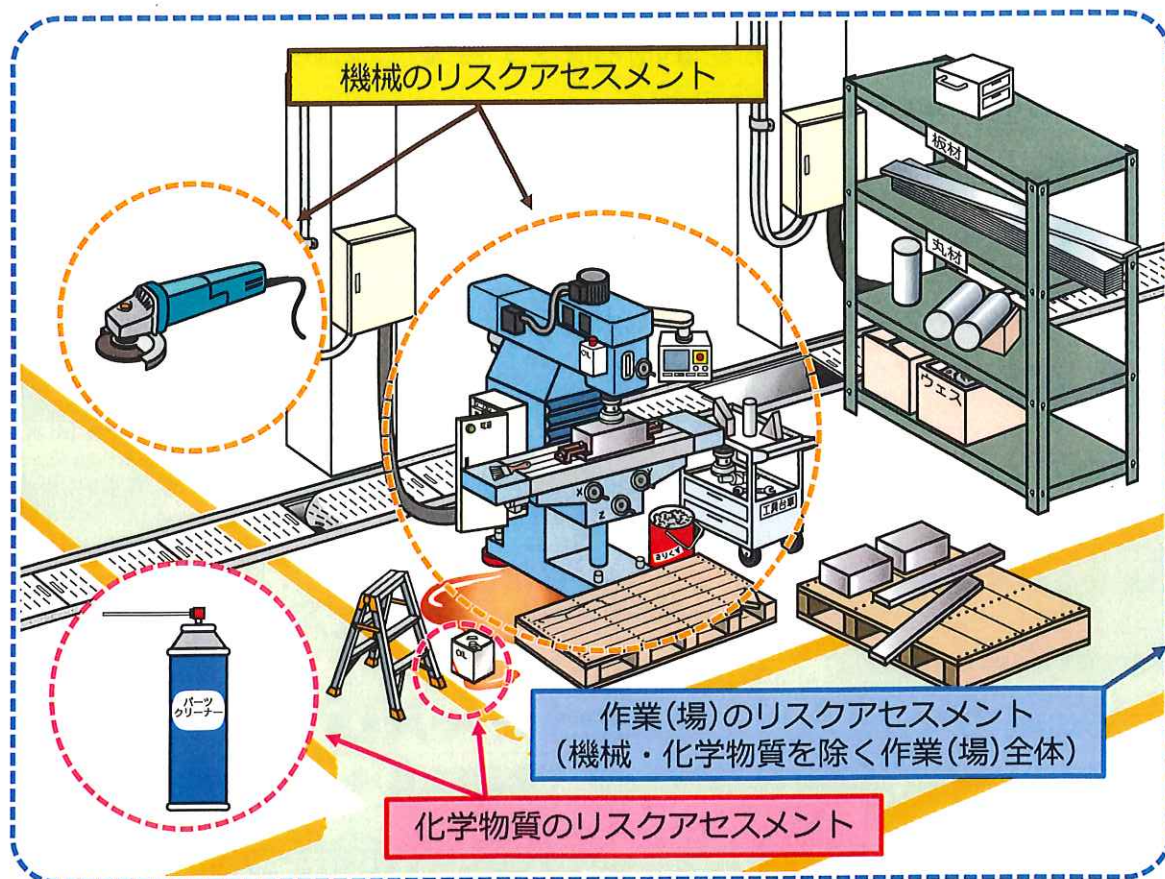


お気軽にご連絡ください

リスクアセスメントの対象



※ 機械・設備を使用する作業には機械・設備のリスクアセスメントが、
化学物質を製造・使用等する作業には化学物質のリスクアセスメントの実施が必要です。



リスクアセスメントの手順

- ① 作業(場)の情報や機械等の使用上の情報の確認
- ② 労働者が関わる作業における危険源の特定(同定)
- ③ それぞれの危険源ごとのリスクの見積もりと評価
- ④ リスク低減措置の検討と適切にリスクが低減されるかの確認
- ⑤ リスク低減措置の実施と確認

2019年7月～10月の研修日程

作業(場)のリスクアセスメント研修	[1]ISO45001導入のための基礎	●7/25(木)東京 ●10/1(火)東京
	[2]ISO45001規格のポイントと実践	●7/3(水)広島 ●7/11(木)大阪 ●7/23(火)富山 ●7/26(金)東京 ●8/6(火)仙台 ●8/9(金)札幌 ●8/20(火)東京 ●8/21(水)福岡 ●9/6(金)東京 ●9/19(木)京都 ●10/2(水)東京 ●10/3(木)大阪
	[3]安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務	●7/3(水)室蘭 ●7/9(火)北見 ●7/12(金)東京 ●7/17(水)名古屋 ●7/17(水)神戸 ●7/17(水)由布 ●7/19(金)新潟 ●7/26(金)横浜 ●7/30(火)仙台 ●8/5(月)東京 ●8/6(火)大阪 ●8/8(木)札幌 ●8/8(木)福岡 ●8/20(火)名古屋 ●8/27(火)八戸 ●9/10(火)名古屋 ●9/11(水)宮崎 ●9/13(金)東京 ●9/13(金)高松 ●9/27(金)秋田 ●9/27(金)山形 ●10/2(水)津 ●10/4(金)前橋 ●10/8(火)福岡 ●10/15(火)諏訪 ●10/16(水)札幌 ●10/16(水)名古屋 ●10/18(金)東京 ●10/30(水)仙台
	[4]職場リーダー向けリスクアセスメント	●7/5(金)名古屋 ●7/9(火)福岡 ●7/12(金)大阪 ●7/17(水)札幌 ●7/17(水)松山 ●7/23(火)東京 ●8/20(火)広島 ●8/23(金)東京 ●8/30(金)大阪 ●9/4(水)名古屋 ●9/5(木)仙台 ●9/12(木)福岡 ●9/13(金)札幌 ●9/19(木)富山 ●9/27(金)東京 ●9/27(金)神戸 ●10/1(火)広島 ●10/11(金)横浜 ●10/30(水)東京
	[5]リスクアセスメント・レベルアップ	●7/5(金)東京

機械のリスクアセスメント研修	[1]機械安全の基礎	●7/9(火)大阪 ●7/17(水)東京 ●7/23(火)金沢 ●8/7(水)福岡 ●9/5(木)東京 ●9/6(金)甲府 ●9/18(水)京都 ●10/29(火)札幌
	[2]機械設備のリスクアセスメント	●7/25・26(木・金)東京 ●7/30・31(火・水)名古屋 ●10/1・2(火・水)東京 ●10/9・10(水・木)大阪
	[3]機械設備のリスク低減	●8/29・30(木・金)大阪 ●9/11・12(水・木)高岡 ●9/25・26(水・木)名古屋 ●10/31・11/1(木・金)東京
	[4]機械災害に学ぶ法令	●7/10(水)大阪 ●7/19(金)富山 ●8/27(火)名古屋
	[5]機械の安全原則	●8/20(火)東京
	[6]電気・制御安全	●9/19・20(木・金)東京

化学物質のリスクアセスメント研修	[1]化学の基礎から学ぶ化学物質管理	●7/11(木)東京 ●10/3(木)東京
	[2]職場リーダーのためのラベル・SDS読み方	●7/23(火)大阪 ●8/5(月)東京 ●9/17(火)名古屋
	[3]最新のリスクアセスメント支援ツールの活用	●7/23(火)大阪 ●8/5(月)東京 ●9/17(火)名古屋 ●10/16(水)東京
	[4]管理・監督者のための化学物質管理	●7/10(水)名古屋 ●7/25(木)福井 ●8/2(金)大阪 ●9/10(火)東京 ●9/26(木)新潟 ●10/1(火)仙台
	[5]化学物質管理者選任時(健康障害防止)	●7/2(火)福岡 ●7/9(火)仙台 ●8/2(金)名古屋 ●8/28(水)東京 ●9/27(金)大分 ●10/30(水)東京
	[6]化学物質管理者選任時(爆発・火災防止)	(11月以降実施予定)
	[7]混合物のラベル・SDSづくり方	●9/30(月)東京 ●10/29(火)東京
	[8]化学物質リスクアセスメント専門(健康障害防止)	●7/29・30(月・火)東京
	[9]化学物質リスクアセスメント専門(爆発・火災防止)	●9/5・6(木・金)東京

【お問い合わせ先】 中央労働災害防止協会(中災防) 〒108-0014 東京都港区芝5-35-2

作業(場)のリスクアセスメント

技術支援部安全衛生管理支援センター TEL:03-3452-6404

機械のリスクアセスメント

技術支援部技術指導課 TEL:03-3452-6375

化学物質のリスクアセスメント

労働衛生調査分析センター TEL:03-3452-6377

(書籍のご注文等に関する問い合わせ) 出版事業部業務管理課(受注担当) TEL:03-3452-6401